

34. 『農具便利論』の世界(2)

熊手・草けずり

〈A〉は刃長 11cm、柄は 104cm。〈B〉は『農具便利論』の熊手で寸法もほぼ同大。ごもく掻き、茄子や蔓物の根を掻き、土を柔らげ、肥えを入れ、水を引くなど重宝という。

〈C〉は草削で刃幅 13cm、柄は 112cm。〈D〉は『農具便利論』の油揚万能。

〈E〉は草削で刃幅 11cm、柄は 95cm。〈F〉は『農具便利論』の紀州の草削。



スジヒキ・筋切

〈A〉はすじ引きで刃幅 4.5cm、刃長 12cm、柄は 102cm。〈B〉は『農具便利論』の枇杷の葉で、麦や野菜の種蒔きの溝やほしか、油粕などをやる溝を引いたりするのに使う。

〈C〉は筋切の使用法。正条植えに先立って畑で水系は使われていた。〈D〉は筋切で、何と柄に筋の間隔を計る目盛り入り。近世農具もここまでくれば現代よりも現代的だ。

